

2991 ランドネット

業種：不動産

アナリストレポート 担当：下川寿幸

東証スタンダード／制度信用銘柄

〈投資評価〉
やや強気(継続)

事業別売上高構成比		単位：％
不動産売買事業	98	
不動産賃貸管理事業	2	

株価	
直近終値	1,462.0 円 (25/09/12)
52週高値	1,520.0 円 (25/09/12)
52週安値	705.5 円 (24/09/04)
時価総額・発行済株式数	
時価総額	175 億円
発行済株式数	1,197 万株

連結株式指標	
予想PER	6.6 倍 2026/07
	6.2 倍 2027/07
PBR	1.58 倍 2025/07
BPS	925.0 円 2025/07
予想PCFR	1.4 倍 2026/07
予想EV/EBITDA	2.3 倍 2026/07
予想配当利回り	0.76 % 2026/07
	0.76 % 2027/07

連結収益性/財務指標	
予想営業利益率	4.1 % 2026/07
実績ROE	23.9 % 2025/07
予想ROE	23.9 % 2026/07
自己資本比率	31.3 % 2025/07
ROIC	8.8 % 2025/07

指標の定義、注釈は文末に記載



- ・前 7 月期の連結営業利益は個人向け販売が好調で 34%増の37億円
- ・販売用不動産の増加で今期の連結営業利益について前期比 20%増を計画
- ・来期の連結営業利益も今期予想比 11%増の 50 億円を予想

事業概要：中古区分マンションの買取販売が柱

独自にデータベース化した中古区分マンションの買取販売が柱で、仲介や賃貸管理も手がける。首都圏を中心に関西や九州にも展開、投資用ワンルームやアパートも育成している。

ファミリータイプの取扱件数は前年同期比 24%増の 3566 件

前 7 月 期 の
連結業績は、
売上高が前の
期 に 比 べ
23.4% 増 の
959.9 億円、
営業利益が同
34.4%増の 37.4
億円となった。主
力の不動産売買
事業で特に個人向
けにファミリータイ
プの取扱件数が同
24.7 % 増 の
3566 件と好調
で、個人向け売上高は同 46.5%増の 483 億円に拡大した。

会社側は今期の連結業績見通しについて売上高で前期比 15.2%増の 1106 億円、営業利益で同20.3%増の45 億円を計画している。仲介件数が同 17.0%増の 1432 件、取引件数が同 12.4%増の 6938 件、管理戸数が同 15.7%増の 1 万858戸となる前提だ。

＜ランドネットの7月期連結業績＞						
	前期			今期		
	実績	yoy(率)	yoy(額)	計画	yoy(率)	yoy(額)
売上高	959.9	23.4	182.0	1106.0	15.2	146.1
不動産売買	947.1	23.5	180.2	1100.0	16.1	152.9
不動産賃貸管理	13.9	18.6	2.2	15.0	7.9	1.1
調整	▲ 1.1	0.0	▲ 0.3	▲ 9.0	0.0	▲ 7.9
営業利益	37.4	34.4	9.6	45.0	20.3	7.6
不動産売買	76.6	28.7	17.1	93.0	21.4	16.4
不動産賃貸管理	1.5	8.5	0.1	2.0	30.4	0.5
調整	▲ 40.7	0.0	▲ 7.6	▲ 50.0	0.0	▲ 9.3

(事業別予想は当企業調査部が作成。単位：億円、％)

＜ランドネットのKPI＞					
		前期		今期	
		実績	yoy(率)	計画	yoy(率)
不動産 売買取 扱件数	仲介	1224	4.2	1432	17.0
	取引	6175	8.8	6938	12.4
	ワンルーム(30㎡未満)	3469	▲ 7.6	N.A.	N.M.
	ファミリー(30㎡以上)	3566	24.7	N.A.	N.M.
	築古(築20年超)	5839	9.3	N.A.	N.M.
	築浅(築20年以内)	1196	▲ 20.6	N.A.	N.M.
不動産 売買売 上高	不動産業者向け	388.3	7.7	N.A.	N.M.
	個人向け	483.0	46.5	N.A.	N.M.
	法人向け	75.8	▲ 1.2	N.A.	N.M.
	賃貸管理戸数	9383	11.3	10858	15.7

(出所：決算説明会資料。単位：億円、%)

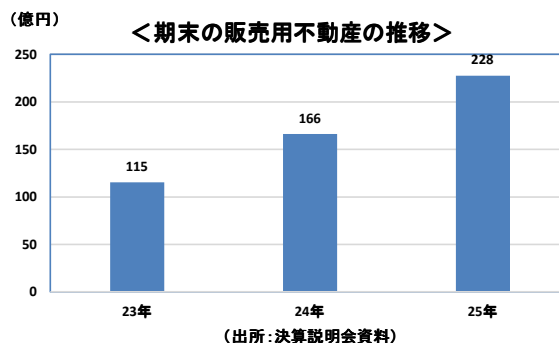
(出所：決算説明会資料。単位：億円、％)

【連結】日本基準	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	EPS	配当
2024/07	77,790 (22.2)	2,785 (83.2)	2,518 (84.9)	1,840 (86.2)	77.2	7.7
2025/07	95,992 (23.4)	3,744 (34.4)	3,311 (31.5)	2,384 (29.6)	99.7	10.0
2026/07 CE	110,598 (15.2)	4,503 (20.3)	3,971 (19.9)	2,649 (11.1)	110.7	11.1
2026/07 TE	110,600 (15.2)	4,500 (20.2)	4,000 (20.8)	2,650 (11.2)	221.4	11.1
2027/07 TE	120,000 (8.5)	5,000 (11.1)	4,500 (12.5)	2,800 (5.7)	234.0	11.1

(CEは会社側予想、TEは当企業調査部予想、カッコ内は前年比伸び率、単位：百万円、％、円)

販売用不動産は好調に積み上がっている

柱となる取引件数の拡大の背景には積み上がる販売用不動産がある。24年7月期末は23年7月期末比45%増の166億円、前期末は24年7月期末比37%増の228億円と仕入れが好調に拡大している。このため、今期の計画は順調に推移するとみられる。



来期も2ケタ増益へ

来期の連結営業利益は今期予想比11%増の50億円と2ケタ増益が見込まれる。新築マンション供給の減少で中古マンションに対する需要は強く、同社の事業環境はさらに改善するとみられる。

投資評価: 中古市場の強さを背景に、やや強気としてカバーを継続

中古市場の強さを背景に、投資評価をやや強気としてカバーを継続する。

(以上) **売買審査課審査済**

【指標の定義】

予想 PCFR = (時価総額) ÷ (予想当期利益 + 予想減価償却費)

予想 EV/EBITDA = (時価総額 + 有利子債 - 手元流動性) ÷ (経常利益 + 減価償却費 + 金融収支)

ROIC = (営業利益 - 法人税等) ÷ (有利子負債 + 自己資本)

※表示した数値は四捨五入等の関係で合計などの数値と一致しない場合がある。

【投資評価の定義】

＜強気＞今後6ヵ月のパフォーマンスが TOPIX に対して 15% 超上回ると予想される銘柄

＜やや強気＞今後6ヵ月のパフォーマンスが TOPIX に対して 5～15% 上回ると予想される銘柄

＜中立＞今後6ヵ月のパフォーマンスが TOPIX に対して ±5% 以内と予想される銘柄

＜やや弱気＞今後6ヵ月のパフォーマンスが TOPIX に対して 5～15% 下回ると予想される銘柄

＜弱気＞今後6ヵ月のパフォーマンスが TOPIX に対して 15% 超下回ると予想される銘柄

商号等: 立花証券株式会社／金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長(金商)第110号 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会 ●この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。●株式を売買する場合は、約定代金に対し、最大1.20175%[税込]の委託手数料がかかります(最低委託手数料は2,640円[税込]また約定代金4,800円以下の売却の場合の委託手数料は約定代金の55%[税込]とし、1円の場合は1円[税込]とします。●株価の変動や発行者の信用状況の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。また信用取引ではその損失額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります)。●立花証券およびその関連会社、役員が、この資料に記載されている証券もしくは金融関連商品について自己売買または委託売買取引を行う場合があります。●投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

＜禁転載＞他目的で当資料をご利用の際は当企業調査部にご連絡ください。